

倉掛新聞

（発行所）倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛一
会長／渡辺研一
（編集）倉掛自治連合会
倉掛少年団
倉掛消防分団

民生児童委員

川相肇氏が退任

後任に大坪正広氏

平成四年から十二年間、倉掛地区の民生児童委員として福祉分野を中心に多大な社会貢献をしてきた倉掛1組川相肇氏（74）が、十一月三十日付けで退任し、代わって自治連合会顧問の2組大坪正広氏（61）が着任した。

川相氏は郷社足次山神社総代長、井原地区社会福祉協議会副会長、サロンあすは代表など数々の要職を務めていた。



12年間、民生委員を務めた1組の川相肇氏



民生委員を委嘱された2組の大坪正広氏

「皆様のご指導と関係団体のご協力を頂き、微力ながら精一杯務めさせて頂きたい」と述べている。

二期目の女性民生児童委員、15-1組渡辺悦己さんは「豊富な知識を活かした川相先輩の地域貢献は計り知れない」と、十二年の活動に敬意を表している。

「通りやすくなりましたね」

郷社西の市道改修



改修後は集水マスの段差も無くなり舗装されて通行がより安全になった

数個の集水マスが飛び出て通行に支障をきたしていたとして、自治連合会が市

に要望していた郷社足次山神社西側市道（延長約60m）の改修工事が終わった。地元住民の意向に添いアスファルト舗装されたことで、路地の様子は一変した。

秋の全国火災予防運動が始まった十一月九日から三日間、倉掛少年団が防火パトロールを行った。

「火の用心！」 防火呼び掛け

倉掛少年団

安心して通れます。有り難い」と話している。市の担当者は「入札により施工業者を決定した関係で、若干の期間を要しました」と説明していた。

18年続く伝統行事

倉掛少年団が独自に行っている夜警活動は、昭和六十一年から継続している伝統行事のひとつ。十一月九日は火事・救急の電話番号「119」にちなむことから定められた。

台風23号大暴れ

小田川 増水 瓦や看板など吹き飛ばす

超大型台風23号は高知県に上陸後、岡山県を暴風域に巻き込み全国各地へ大き

な爪跡を残した。十月二十日午後から強まった暴風の影響により、倉掛地区でも家々の瓦や波板が吹き飛んだり、商店や事務所の看板がたちこちで壊れた。JA岡山西農協では

防災バッグの準備を

倉掛自治連合会では兵庫県豊岡市の大水害を教訓に「小田川も氾濫しないとは限らない。各家庭でも防災バッグを準備するなどの心構えが大切」と呼び掛けている。

拠点づくり前進

住民アンケート実施

賛成多数

倉掛地区民の拠点づくりに関するアンケート結果がまとまり、十一月十八日付けの書類で回覧された。

来春、倉掛地区内にオープンする（仮称）市民活動支援センター二階の一部を市から借りる件の賛否を対比

●民生児童委員Ⅱ民生委員は、民生委員法によりその設置が定められ、都道府県知事の推薦により厚生労働大臣から委嘱される。民生委員は各市町村に置かれて

いる民間奉仕者であり、社会奉仕の精神をもって地域の身近な支援者として活動する。また、児童福祉法により、児童及びその家庭がもつ福祉課題などの援助や指導を行う児童委員も兼ね

150mにある水門からの逆流で一般世帯の庭先に泥水が入り始めたため、自治連合会は井原分団第3部に活動を要請した。市の防災担当者も駆けつけ、建設業者の大型排水ポンプを設置して泥水を汲み出し、事なきを得た。



いいきいき・ふれあいサロン「あすは」が10月8日午前10時から郷社拜殿で開かれ約30人が参加、きのこ荘の田中美鈴講師から健康体操について学んだ。

田中講師は「手足を動かすと脳が刺激され、若さを保てる」と、リズムをとりながら指導。さらに「ラジオ体操に5000回参加した」「ひ孫ができた」「イチローの活躍に胸が熱くなった」「函館の夜景が綺麗だった」「彼岸花が美しかった」と、最近感動したことを全員が発表するなど、心身共に充実したひとときを過ごした。

11月6日には嫁いらず観音で“出張サロン”を開き、昼食会などをおして会員の交流を深めた。



健康体操を受講するサロンの会員＝郷社拜殿

いいきいきふれあいサロン「あすは」

秋は2度開催

勇壮に備中神楽



秋祭り賑わう

井原町秋祭りが十月二十四日に執り行われ、倉掛地内には少年団みこしや消防団の千歳楽が繰り出し賑わった。

倉掛少年団と育成会のみこし一行



少年団みこし一行は、大黒様や松尾明神、各種の鬼に扮した大人や子供ら十五人が加わり、総勢約五十人

の大部隊。祭ばやしに誘われて笑顔で家から出てきた幼児が、鬼を見つめるや一目散に逃げたり、親に抱きつき泣きじゃくるなど、井原鬼祭りならではの光景が見られた。

第3部消防団有志による千歳楽は、管轄する倉掛と夏目を手広く回り、午後三時頃郷社に戻った。



4年の渡辺琴美さんと優しい？鬼

また郷社境内では井原社中による迫力ある備中神楽が奉納され、多くの見物人を楽しませた。

倉掛が準優勝

塚村選手が逆転本塁打

町球技大会ソフトボール

井原町秋季球技大会（井原公民館主催）が十一月七日、井原小学校で開かれ男

子はソフトボール、女子はバレーボールで熱戦を繰り

大活躍の塚村秀司選手



一方、男子のソフトボールは下町との初戦、1回に4点を先取されや

広げた。倉掛バレーボールチームは今回、有力選手の起用で注目を集めたが、試合の流れに乗れず惜しくも上位進出を逃した。

皆のつとめがいつ

倉掛少年団が廃品回収

倉掛少年団（山岡弘樹団長18人）と同育成会（谷和政会長17人）が十一月十四日、今年二回目の廃品回収を行った。

た関係で集合を三十分繰り上げ午前八時から作業を開始。育成会員らの運転する軽トラックに分乗した団員は、各家庭から出された古新聞や雑誌、段ボールなど

を手際よく回収し、大型トラックに積み込む作業を繰り返した。13-1組田原耕太郎さんら約十人のボランティアが協力したこともあり、午前十一時過ぎにはすべての作業を終えた。

育成会の小川泰之副会長は「皆様には大変お世話になりました、有り難うございました」と感謝していた。

決勝は向町と対戦。5-7とリードされた最終回二死の土壇場で、塚村秀司選手が走者二人を置いてセンターオーバールの逆転本塁打を打ち、8-7の劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

「みんなの協力大切」 5年男子のみこし体験談

■「初めてのお祭りでおみこしをかついで思ったことは、みんなで協力して、一人でも力をいれてなかったら持てないということがわかりました」=5年・佐藤航平
■「初めてのおみこしかつぎ。思っていたよりつかれました。でも『ワッショイ』と声をかけると、とても気持ちよかったです。また来年もやりたいです」=5年・佐藤翔平
■「大声をだしたので、声がかれてきました。でも、休憩でおかしを食べて元気ができました」=5年・川上悟史
■「今年で二回目のお祭り。しんどかったり苦しかったけれど、一生懸命がんばったのでいい思い出になりました」=5年・岡藤航平

◆ 行事予定 ◆

- 12/5 井原分団第3部試運転日
- 12/5 井原後月連合駅伝競走大会
- 12/11 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 12/12 倉掛少年団クリスマス会
- 12/12 全国健康マラソン井原大会
- 12/18 自治連合会防犯パトロール
- 12/22 井原小学校2学期終業式
- 12/24 井原中学校2学期終業式
- 12/26 全国高校駅伝大会（京都市）
◎興譲館女子チーム出場
- 12/28～29 井原分団第3部年末夜警活動
2005年（平成17年）
- 1/1 郷社新年祈願祭（3日まで）
- 1/7 井原小学校3学期始業式
- 1/8 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 1/9 井原市成人式
- 1/11 井原中学校3学期始業式
- 1/15 自治連合会防犯パトロール
- 1/23 井原市消防出初式
- 2/6 三代交流グラウンドゴルフ
倉掛少年団&サロンあすは（郷社境内）